

KOBE YMCA NEWS

神戸青年 No.641

2016.1・2 Jan・Feb

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷



神戸YMCA
年間聖句

実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、喜びなのです。(テサロニケの信徒への手紙 一 2:20)

チャリティーラン報告

「第18回神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2015」を、11月3日(火・祝)神戸市北区のしあわせの村において開催し、無事に終えることが出来ました。

今年は、出場チーム232チーム、ランナー1,036名と昨年を上回る数のご参加を頂き、それぞれのペースでしあわせの村内のコースを駆け抜けました。また、ボランティア182名、そして声援を送る家族や友人など、多くの方々の笑顔と走る喜びを分かち合った1日となりました。ワイズメンズクラブやユースボランティアリーダーによる食べ物やゲームなどの出店コーナー、協賛企業のご協力によるラッフル大会など、走ること以外にも楽しみがあふれ、嬉々とした子どもたちやご家族の姿をみる事ができ、神戸YMCAに関わるすべての人たちの笑顔の輪が広がって行くように感じました。



「私たちは障がいのある子どもたちを応援しています」をキャッチフレーズに行った第18回チャリティーランですが、今回は、ランナーとしての参加以外にも、パンフレットの作成や発送作業を神戸市内の障がい者作業所をお願いをし、見えないところで関わって下さいました。ご参加頂いた皆さま、会場に足を運んで下さった皆さま、ご支援頂いた企業、個人の皆さま、関わって下さったお一人おひとりに、この場をお借りして心よりの感謝を申し上げます。なお、お寄せ頂いた協賛金、参加費、当日バザー・ラッフル券の売り上げは大会運営経費を差し引き、全国ならびに神戸YMCAで行なわれます心身に障がいのある子どもたちや若者たちのキャンプに用いさせていただきます。



【出場チーム数】

小学生駅伝(4年生50チーム、5年生38チーム、6年生30チーム)、グループラン114チーム

【出場者数】

1/10マラソン46名

【協賛金】

996,344円(2015年11月22日現在)

迎春



会長 中道基夫



総主事 井上真二

皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

1886(明治19)年に創立された神戸YMCAは、今年で130周年を迎えます。この間、イエス・キリストに示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、それぞれの時代に公正で平和な世界の実現をめざして歩んできました。しかしながら、昨年世界中でテロや紛争と、多くの人たちの血が流れました。大きな歴史の流れの中で、和解と許しが得られない状況が今もなお続いていることに心を痛め、少しでも早く争いが終結することを祈らずにはおられません。イエスが語った「平和を実現する人々は幸いである」という言葉は心の平安だけではなく、皆が共に生きられる世界を実現させる人々(英語ではpeacemakers)への祝福です。

2015年度、神戸YMCAは新3ヶ年計画(2012~2014年度)で最も重要な課題として位置づけられた三宮会館再開発事業を進め、2017年2月には待望の新三宮会館が完成し新たな歴史がスタートします。この大きな事業計画を推進しつつ、2020年を見据えた中期計画を実行するため、3つの柱を以下に掲げました。

- 1) 子育て支援、健康促進、高齢者支援の活動を中心とする「ファミリーウエルネス」を推進していきます。
- 2) 次世代を担うユースを活動に巻き込み、エンパワーされる機会を積極的に推進します。
- 3) 使命に基づいた活動のため、地域の特性、状況を十分に理解し、地域の人々とともに安心安全な社会を築きます。

また、日本YMCA同盟中期計画と連動し、日本YMCA全体のブランディング(YMCAの価値を明確にし、内外に広くその価値を示していく手法)について調査し、広報の新展開を目指します。

世の中が混沌とする時代にありますが、人に寄り添い、家族や地域の絆を強め、公益財団法人、学校法人、社会福祉法人に集うすべてのいのちが光り輝くように、2016年度も活動を展開します。

未来への提言

「平和を実現する人々」

「平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

(マタイによる福音書5:9)

戦後70年に平和を想うべき当時の積極的平和とは、と題するYMCAセミナーに参加させて頂きました。消極的平和と積極的平和という言葉の違ひからの学びに始まり、紛争・対立(コンフリクト)という私たちの身近な生活の中にある小さなジレンマ(コンフリクト)にどう活路を見出していか、これか、あれか、と市民が自ら考え物を言い、行動する中にこそグローバルな平和社会が構築されていくという学びでした。

今ほど、日本の社会において平和を、神による平和を希求する思いが強くなっている。ときは無いように思います。憲法を変えてまでも、戦争の出来る国にしていこうとする現政府の動きにはつきりと「NO」を表明していくこと、今、日本では戦争のような直接的暴力や、貧困、抑圧、差別など構造的暴力もないという、消極的平和を享受し、政治に対しての多くの無関心層がいる現状に疑問を感じるのには私だけではないと思います。原発問題も、「フクシマ」を置き去りにして再開を決め、核廃棄物の何十年先までの処理方法もきちんと考えずにいる政府の動きが許せない思いでいっぱいです。

神戸YMCAに連なる若い(心の)私たち皆が、小さく弱い抑圧されている者たちの側に立ち、さまざまな活動を通して未来への負の遺産を残すのではなく、神による真の平和を求めるものとして、新たな歩みを進めて行きますように、切に願っています。

神戸東部教会会員 草地とし子

YMCAセミナー×憲法を知る集い

「平和を考えるワークショップ」

日時... 2015年11月13日19:00~20:30

場所... 日本基督教団神戸教会

講師... 奥本京子さん(大阪女学院大学教授、NARPI運営委員長)

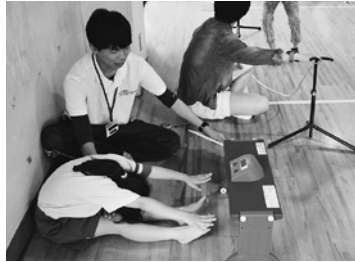
参加者... 39名



学童保育クラブ 太山寺児童館



現在、太山寺児童館には小寺小学校、東町小学校、太山寺小学校、小東山小学校の4校から84名の子どもたちが来ています。児童館の学童保育クラブには、多くのボランティアの方々が関わってくださっています。中学生から始まり、シニアボランティアの方まで来てくださっています。子どもたちの生活を見てくださる方、また昔あそびを教えてください方、絵本の読み聞かせをしてくださる方、宿題を見てくださる方、多くの方がこの児童館を支えてくださっています。



一昨年より毎年継続的に流通科学大学の先生と大学生が授業の一貫として、学童保育クラブの子どもたちの身体のバランスや体幹、また身体能力を測定し、運動指導を行いに来てくださっています。身長、体重測定から始まり、ステップ運動、運動有能感を調べて、子どもたちの身体の成長も一緒に見守ってくださっています。子どもたちも楽しみながら、大学生のことを待ちわびています。太山寺児童館では、本当に地域の方に支えられ、子どもたちの安全、成長を一緒に見守っていただいています。これからも地域で子どもたちを見守っていける学童保育クラブを目指していきます。

YMCAちとせ幼稚園 体操



幼稚園では、朝のコーナー遊びの時間が終わると、全園児で体操をしています。冬の寒い朝でも子どもたちは元気いっぱいです。



登園後、コーナー遊びで、それぞれ自分の好きな遊びを見つけて存分に遊んだあとは、集中力も増します。年長組のお兄さんお姉さんが、はりきって体操をしているのを見て、年中組、年少組はもちろんのこと、未就園児2歳児クラス「さくらんぼ組」のお友だちもお兄さんお姉さんたちに刺激を受けて体操に参加しています。さくらんぼ組の子どもたちに「体操、始まるんだって!」と先生が一声かけると、みんな待ってましたとばかりに進んで自分で靴を履き、園庭に出て行きます。大好きなことの為なら、何だって早い!! そして、いざ! 音楽が流れると…子どもたちの表情は真剣そのもの! かけ声もバッチリ! 手の指先まで「ピン」とのぼして意識したり、大きく体を動かしたりと、いきいきとした姿に、子どもたちのみなぎるエネルギーを感じています。中には、さくらんぼ組の子どもたちにそっと寄り添ってくれる年長さんもいて、その姿は微笑ましいかぎりです。また毎週水曜日の「園庭開放」に遊びに来られた地域の未就園児やお家の方々にも一緒に体操に参加していただいています。自然とみんながひとつになれる瞬間——とっても楽しい時間です。

チャリティーゴルフ 報告

第33回神戸YMCAチャリティーゴルフ大会が、花屋敷ゴルフ倶楽部よかわコースで、爽やかな天気のもと、52名の方々にご参加いただき開催されました。大会での募金とは別に「神戸YMCA子ども奨学金」への募金をお願いしたところ、26,587円のご寄付をいただきました。当日参加できなかった方からもチャリティー協力金や物品をいただきました。収益金から諸経費を除いた約278,000円は、神戸YMCA青少年指導者養成支援金として、また一部を東日本大震災の復興支援として捧げさせていただきます。

【募金していただいた方々】

市原法雄、森忠司、藤谷能人、細見史郎、寺山正道、岡本繁、佐々木留奈子、吉岡智成、武田寿子、武内 浩子、小笠原美根、村上純平、堂本将司、山本克己、加藤金行、桂幸生、大江彬甫、山本常雄、富田順治、都藤啓己、岡野泰和、尾上尚司、石丸鐵太郎、多胡葉子、進藤啓介、山口政紀、山口洋子、広瀬一雄、河野彰、万本敬一、大西弘一、矢野勇治、光岡和美、田中昌利、田野昌廣、浜崎真寿美、濱浩一、濱美智子、山崎祐子、川野由紗、新宅章弘、清水規裕、清水真由美、松井隆介、熊谷親啓、岩谷良男、中尾英輔、藤田良祐、井上真二、平野仁貴、島田健吾、国本正男、吉原尚美、芝川英美子、竹増操、阪根新、東谷敏雄、安行英文 (順不同、敬称略)

西宮つとがわYMCA保育園



4度目の収穫感謝を迎えた西宮つとがわYMCA保育園では、今年度、子どもたちと初めてバケツを利用しての米作りに挑戦しました! 20個ほどのバケツで稲を育て、子どもたちが1本ずつ手作業で稲穂から籾をはずし、ビンの中に籾を入れて棒でつく方法と、ざるの中で野球ボールを回してこす方法で籾殻をはずして玄米にし、いつものお米にまぜておにぎりにしていただきました。年中児のすみれ組がお米を研ぎ、炊き上がったお米は、幼児さんみんなでおにぎりを握り、「少し黄色いお米がつとがわのお米だね」と「つとがわ産」を嬉しそうにほおばっていた子どもたち。



お米の他には、年長児のゆり組が保育園の畑で育てたさつまいもを使って包丁や皮むき器を真剣に扱い、お味噌汁を作ってくれました。みんなで「神さま、おいしいご飯をくださってありがとうございます。」と感謝のお祈りをし、この日はみんな揃って「いただきます!!」

みんなで一から食材を育てたり収穫したりした経験や喜び、みんなの食べる分を作ったこと、みんなで作ったものを分かち合いおいしいねと交わした経験は、きっと子どもたちの心の中に素敵な思い出として刻まれたのではないのでしょうか。

保育士や栄養士の先生たちにとっても、神様の恵みや作ってくださる方々に支えられて、こうして健やかに日々子どもたちが心を動かしながら成長していくことができていること、こんな素晴らしい表情を見せてくれる子どもたちに、また大きく心が動かされる経験となりました。

感謝 ・ 寄付

【神戸YMCAの活動支援】

神戸YMCAベルクワイヤー様から、神戸YMCAの活動費の為に献金をいただきました。我々の活動を支えてくださるベルクワイヤーの皆様にご感謝いたします。

【台風18号常総市水害被害復興支援募金】

神戸YMCAでは日本のYMCAと協力し、台風18号常総市水害被害支援として募金の呼びかけを行いました。皆様から寄せられた募金48,637円は、日本YMCA 同盟を通じて、茨城YMCAへ捧げました。

新会館建築募金 (感謝)

(前号掲載以降~ 11 / 30現在)

武田建、笠井健一、宗行孝之介、権藤みか、ディンドンリンガーズ、小野勅紘、他 (敬称略・順不同)

東日本震災支援 ファミリーデー

私は2015年11月22日(日)に実施された、リフレッシュファミリープログラムにリーダーとして参加させていただきました。

このプログラムは、東日本大震災で被災されて関西地域に避難されてきているご家族の方を対象に、自然の中で1日リフレッシュしていただくという企画です。

今回は15人の被災避難家族と11人のリーダー、スタッフによって実施されました。プログラム内容は、まず中さん(三田市中農園)の畑で大根を収穫させていただき、それを使って味噌汁をみんなで作って食べ、午後からは焼き板作りを体験し、中さんのお宅の庭で栽培されている柿をいただいて、自由時間をとってから、解散というものでした。被災者の方々の中には何度もこのプログラムに参加してくださっているご家族もいらっしゃいましたが、私自身は初めての参加だったのでいろいろと手探りな状態でした。けれど、小学生や幼稚園の子どもたちは皆初対面でもすぐに仲良くなって、無邪気に走り回って楽しそうに遊んでいました。その姿を見ながら一緒に遊んでいると最初の不安や心配はすぐになくなって子どもたちと同じ立場にたって楽しむことができました。ご家族の皆さんも子どもたちと一緒に楽しまれたり、大人の方々だけでいろんなお話をされていたり、子どもたちとは違った意味でも楽しんでいただけたようで私が参加させていただいた意味が少しはあったのではないかと思います。

ふだん接することのない年齢の子どもたちや大人の方々と同じ時間を過ごさせていただいて、貴重な経験になりました。またこのような企画があれば、ぜひ参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。(啓明学院高校1年 服部礼佳)



東日本大震災支援プログラム

「エコファームで収穫体験しませんか♪」 を終えて



11月14日、神戸YMCA、神戸市社会福祉協議会、コープこうべ共催で避難者交流会を行いました。エコファーム(コープこうべ)では、小松菜や青ネギの収穫をしたり、BBQをしたり、情報交換したりして交流の機会を楽しみました。



遊びに夢中になっていた子どもたちも、青ネギのビニールハウスに入った途端、「ネギのにおいがする」と言って走りだし、収穫を始めました。子どもたちは土のにおい、青ネギや小松菜のにおい、土の感触、小さな生き物たちなど、様々なことを身体全身で感じ、収穫を楽しんでいるんだなと思いました。夢中になっていたのは子どもだけではなく、どの人の袋もあつという間に満杯になっていま

した。午後からは子どもの提案により、ゲームをして遊びました。ルール説明から椅子を並べて始めるまで子どもたちが自ら行いました。遊ぶ子どもたちのそばでは、大人たちがゆったりと情報交換をしながら過ごしました。

今回は関係団体の皆さんとともに活動することができ、素晴らしい一日になったと思います。ありがとうございました。(三宮ボランティアリーダー 横道 千紗都)

シアトルYMCA スタッフ研修

10月12日～10月20日、パートナーであるアメリカ・シアトルYMCAからSusan Strong(スーザン・ストロング)さんが来神しました。スーザンさんは、シアトルYMCA副総主事、リスクマネジメント部門責任者です。研修期間中は、両YMCAのリスクマネジメントについて情報共有を行ったり、各ブランチの訪問を行ったりしました。また情報共有だけでなく、両国の文化の違いからくる対策・対応の異なりと、その事についての取り決めも行いました。そのため神戸YMCA顧問弁護士、保険会社、建築会社などとも協議の場を設けました。多くの方々にご協力いただき成し得た研修プログラムとなりました。



神戸YMCAは難民事業本部関西支部と共催で「わたしたちの難民問題Vol.16」を開催しました。紛争や迫害を逃れ、家を追われた人が、世界各地に約6,000万人いると推定されています。日本にもさまざまな国から難民が庇護を求めて来ています。

「わたしたちの難民問題」では4回に分けて難民本人、支援者、研究者からお話を聞きます。初回に、永遠璃マリールイズ氏(NPO法人ルワンダの教育を考える会・理事長)をお招きし、ルワンダ内線の悲劇から学んだことと題して講演をいただきました。1944年に内線から勃発したルワンダから必死に逃亡の末、隣国の難民キャンプへとたどり着きました。困難な状況から彼女を救ったのは教育と人との繋がりでした。内線勃発から難民キャンプ、そして日本へという壮絶な体験についてお話を伺い、命の尊さ、平和の大切さについて考えさせられました。



また、「日本に暮らすラオス定住難民の現状と多文化共生に向けた課題」として乾美紀氏(兵庫県立大学・准教授)、「さまざまようロヒンギャ難民とその背景と現状」では根本敬氏(上智大学・教授)、「トルコでのシリア難民支援活動」では景平義文氏(難民を助ける会・シリア難民支援担当)にお越しいただきました。

今回も難民本人、支援、研究者のお話を聞き、平和な日本で暮らすわたしたちに今できることを参加者の方々とともに考える機会をもちました。

ファミリーウェルネスセンター ☎078 (241) 7202
 YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
 ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
 専門学校 ☎078 (241) 7203
 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
 三田YMCA ☎079 (559) 0075
 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241
 デイキャンプ&コミュニティーサービス(兼キャンプ事務局) ☎078 (241) 7216
 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204
 ウェルネスセンター学園都市 ☎078 (793) 7401



Information

西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
 西神戸YMCA ☎078 (993) 1560
 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
 YMCA保育園 ☎078 (794) 3901
 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992
 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011
 神戸学園都市YMCAこども園 ☎078 (791) 2955
 YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
 ちとせ保育ルーム ☎078 (732) 3542
 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705
 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798 (26) 1016

ファミリーウェルネスセンター 1周年記念Tシャツ

ファミリーウェルネスセンターは1周年を記念して、アニバーサリーTシャツを作成し、販売しました。このTシャツはメンバーとスタッフが同じウェアを着て、一緒に汗を流したいという思いで作りました。多くのメンバーが、このTシャツを着て、日々の運動を楽しんでいます。スタッフもこのTシャツを着て、メンバーのみなさんと汗を流しています。みんなでよこびを感じる毎日です。これからもメンバーとともに歩む施設でありたいと願います。



神戸YMCA国際奨学金 受給者決定

神戸YMCA学院専門学校日本語学科では、毎年YMCAで日本語を勉強している外国人学生2名を対象に神戸YMCA国際奨学金を支給しています。この奨学金は国際協力募金が用いられています。



北京YMCA スタッフ 来神

中国北京YMCA幼稚園のスタッフが来神されました。主に北京YMCAの幼稚園で行っている体育プログラムの研修として、ファミリーウェルネスセンターと西神戸YMCA幼稚園を訪問されました。



第4回 KOBE中高生 Sweetsコンテスト

11月8日(日) ユースプラザKOBE・EASTで4回目となるKOBE中高生Sweetsコンテストを開催しました。10組の中高生が「あなたのまち神戸」をテーマに趣向を凝らしたオリジナル創作ケーキを持ち寄り、プレゼンテーションと審査委員による試食審査を行いました。中高生の目線で見た神戸の魅力と各自の思いが詰まったケーキはとても美味しく、笑顔が溢れる1日となりました。



優勝作品「Night of KOBE」

トライやるウィーク

幼稚園、保育園、ファミリーウェルネスセンター、カレッジ、西神戸ランチやウェルネスセンター学園都市、地区体育館等でトライやるウィークで中学生を受け入れました。はじめは、挨拶やメンバーと関わるときにも遠慮気味でしたが、5日間の中で、子どもの名前を呼んで一緒に活動したり、後日、「挨拶の大切さがよくわかりました」と手紙で感想がありました。



タイワークキャンプのお知らせ

～第32回タイピースワークキャンプ参加者募集～

日程：2016年3月21日(月)～30日(水)
 募集人員：15名(最小催行人員7名)
 対象：テーマに関心を持つ高校生以上のユース
 参加費：195,000円
 問合せ：国際・奉仕センター 078-241-7204

◆このプログラムは「ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部各クラブ」及び「神戸YMCA国際協力募金」からの支援によって実施されています

2015年度神戸YMCA YYフォーラム

日程：2016年2月6日(土)
 時間：13:00～17:00
 会場：神戸栄光教会

神戸市中央区下山手通4-16-1
 テーマ：「神戸YMCAの宝さがし」
 神戸YMCAにつながる私たちにとっての宝とは何か？
 みなさんとYY(ワイワイ)話しながら宝を見つけていきたいと思います。

問合せ：YYフォーラム実行委員会(神戸YMCAカレッジ内) 078-241-7204まで。

★★ 個人消息 ★★

<採用> 上村雅昭さん(本部事務局 嘱託職員) 12 / 1付
 <退職> 今までのお働きに感謝いたします。
 小林功士さん(西宮ランチ、三田センター 主事職) 10 / 31付
 <お誕生> おめでとうございます。
 多田羅待子さん(YMCA保育園) 次男 友希くん 11月23日 生まれ
 奥田美那子さん(YMCA保育園) 次女 ころろさん 11月30日 生まれ
 掛布友子さん(西宮つとがわYMCA保育園) 次男 竣太くん 長女 陽葵さん 12月1日 生まれ

